

お蔭様で、当社は63期目を迎えました。これほど長くこの地で仕事をさせて頂いていることに感謝し、これからも着実に進んで参ります。

ご け い た よ り
互恵便り 第26号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



ムスカリ

写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

色々なことが、初夏へ向かって再始動！

AJI STONE FAIR 2023

庵治ストーンフェア vol.51

restart

— 再始動 —

～今こそ、日本の石は日本の技で～

NEW UPDATE...



協同組合 **庵治石** 振興会

会期：6月2日(金)・3日(土)

会場：サンメッセ香川(香川インテリジェントパーク内)

日本の石は日本の技で...

コロナの影響で3年間中止になっていた庵治ストーンフェアが、今年は4年ぶりに開催されます。庵治産地石製品の展示販売と産地情報の発信とともに、石材関連商品の展示販売があります。庵治石の魅力に触れにお出かけください。



大丁場 見学ツアー

6月2日(金) 午前の部 10:00 ~
午後の部 13:30 ~

参加費
500円

1、庵治ストーンフェアでは、大丁場見学ツアーの他に石のワークショップやアームレスリング大会、歌の催しなども企画しています。



第63期 経営計画発表会

3月25日(土)、中谷石材グループの『実行計画発表会』を開催しました。同じ会場に全社員揃っての開催は、4年ぶりのことでしたが、社長を始め各グループと各部門毎の今期の経営方針発表を行いました。



このことはすべての経営者が日々思いを巡らし、ときに悩んでいることです。私はその一人に過ぎません。

時代は移り変わります。経営者は常に、「変わらぬものと、変わり行くもの」を見極めなければなりません。そして、自らの努力で成果を出すことが可能なことに、集中する必要があります。

飛ぶように売れるということは、まさに想像できません。先代の近い将来においては、墓石が飛ぶように売れるということは、まさに想像できません。

変わらぬものと 変わりゆくものを見極める

お陰様です。
今期の経営方針を決めるにあたり、これからの石材業界を、「お墓」を中心に私なりに推測しました。

現在のお墓は、中国で加工されたものが8割を占めています。ピーク時に120万トンあった輸入が昨年は30万トンを切り、国内での生産も減少の一途です。また、お墓の需要は2015年にピークを迎え、お墓を持つている方は7割に達しています。お墓のあり方も、永代供養や樹木葬等へと多様化が進んでおり、必ずしも石のお墓である必要はないという時代を迎えています。これから先の近い将来においては、墓石が飛ぶように売れるということは、まさに想像できません。

中谷石材において変わらないものは、当社の理念です。
一、「社会に役立つ人間を育てること」
一、「個人の自立性を基本に、協力し合う企業であること」
一、「競争から調和へと社会が進むことに貢献する」と
2004年7月11日にこの理念を制定してから19年が経ちましたが、いま現在も些(いささ)かも変える必要を感じていません。
ひとつ目は経営者が社員にできることとして。ふたつ目は社員が仲間になることとして。三つ目は会社が社会に対して出来ることとして、熟考を重ねて制定しました。今後この理念に沿って一歩一歩前に進んでいこうと思っています。

変革には 戸惑いや逡巡が生まれる

変革を進めるときには、戸惑いや逡巡(しゅんじゆん)が生まれます。社内ばかりではなく周囲にもこれからどうなるんだ、という不安をもたられるかもしれません。しかしこれまでもどおり誠実に仕事を行い、築いてきた信用・信頼を裏切ることなく進めば道は拓けます。私はそう信じています。

中谷石材は、これから先も理念に沿って地道に正道を歩んでいくことを、改めて確認する経営発表会となりました。

社長 中谷明生



今年も執り行いました 年に一度「無縁墓」の供養祭

大川町の阿弥陀寺さまのご協力のもとでお預かりしている「無縁墓」です。3月20日(月)に社長をはじめ各部署の代表者が参列して、阿弥陀寺さまの御先導のもとで三界万霊塔の前にて今年の供養祭を行いました。仏石を安置している手前には、蓮の花が咲く池もある清閑でとても気持ちの良い場所です。毎年7月初めからお盆が過ぎる頃までの期間には、池には次々と蓮の蕾が現れて咲き続けます。今から楽しみです。



経本を見ながら社員も一緒に読経します。



香川県一環境の整った墓地公園を目指す 久米山墓地公園をご紹介します

墓守として…

お客様のご要望にお応えするために

- 新しい時代のお墓や、ご供養のご提案などの取り組みを始めました。
「樹木葬」は7月から販売開始となります。
- 「永代供養墓(全国区)」は受付しています。

- ・安心の永代供養
- ・宗教宗派を問わず
- ・理想的な先祖祭祀

永代祭祀とは、世間一般でいう永代供養のことです。久米の杜では『ご遺骨』をお預かりし、永代祭祀を行っております。

- ①合祀墓(合祀による)1体2万円から
- ②納骨壇(骨壺による)
5年間…5万円から
10年間…10万円から

上記の期間を過ぎると合祀墓に合祀します。

くめ もり えいだい さいし 「久米の杜」 永代祭祀

久米の杜では宗派を問わず、納骨をお受けしています。核家族化や現在の墓地事情などの環境変化に加え、先祖の遺骨をいつも、いつまでも大切に供養したい、というご遺族の思いを受け止め、理想的な先祖祭祀・供養法として永代に繋げます。

久米山墓地公園
高松市東山崎町1098

高松駅から車で15分
久米池のほとり
大型駐車場完備

- 墓石・墓地が不要なので、お墓に比べて費用が掛かりません。
- 入会費、年間管理費、入壇料などといった年間管理費等の追加費用は不要です。
- 宗旨・宗派を問わず、どなたでもご納骨できます。
- 永代使用料…本施設の永代使用料は次のとおりです。
使用料金は申し込み時に一括納付していただき使用許可証を交付します。(消費税の課税なし)



■お問い合わせ■ ☎ 087-847-4939

中谷石材で大丁場を担当しているのは野口さん、澤井さん、中谷彰吾さんの3名です。暑い夏も寒い冬も黙々と原石を掘り出しています。



日々、大丁場から切り出す 「庵治石」と向かい合っています



思わず撮った写真です！

丁場の人の事務所がある石置き場周辺の草抜きをしていると、大丁場の中谷彰吾さんが石を割っている姿を発見！思わず撮った写真が、こちらです。

ちよっとわかりづらいですが…石の写真の赤い線がわかりますか？そこはキズがある部分だそうです。そこを避けて穴あけをした所にセリ矢を打ち込み、石を割ります。こうしてキズのない、全部を使用できる庵治石の原石が1つ完成するんです。

キズの見極めも技術と経験がないと無理ですね。この日は、大丁場で日々、庵治石と向かい合っている石割作業をしている仲間の見事な仕事ぶりに、思わず見入ってしまった時間でした。

宇彫課社員



宇彫課で毎日行っている環境整備の時間を使つての、週一回の集中環境整備を行った日でした。

全社一斉環境整備 再開は『久米の杜』から！



4月15日(土)

草むしりのリーダーも



所属を超えてみんなで一緒に！



4、社員みんなで汗を流して取り組みました。中谷石材が経営を担う「久米山公園墓地」は、香川県で一番環境の整った墓地公園を目指します！



「草むしり日記」 No.50

桜の花も終わりいよいよ春から初夏へ・・・さあ、草の伸びる季節の始まりです！
お客様からご相談のあった雨樋や屋根瓦の修繕工事にお応えして、とても喜んでいただいています。私たち草むしり事業部は、皆さまのお庭やお墓の困りごとに、より一層お役に立てることを願って張り切っております。ご利用ください^^



藤澤秀樹

みなさま、こんにちは。

中谷石材・草むしりリーダーの藤澤秀樹です。皆さまには大変お世話になっています。

私は昭和50年(1975年)香川県高松市に生まれました。今年で48才になります。小さいときは土ばかりいじっているような子どもでした。というのも祖父父母が野菜を作っていたのですが、それを手伝うのが大好きだったからです。私は2人兄弟なのですが、兄の方はそういうことに全然興味がなく、私だけが畑を手伝っていました。まるで家の仕事に励む良い子みたいですが(笑)、そういうわけではありません。単純に土いじりが好きだったんです。

もちろん友達と野球をしたり、自転車で遠出をしたりとかはありました。釣りはあまりしませんでした。準備が面倒くさかったんです(笑)。

高校では毎日、柔道三昧

高校は野球の強い尽誠学園に通いました。私が入部したのは、野球ではなくて柔道部でした。柔道は中学から始めて、高校のときは柔道三昧の毎日を通していました。昔ですから先輩は厳しかったですよ。まあ、柔道の練習に明け暮れた3年間でした。

瓦職人の道へ進みました

高校卒業後は瓦職人の道へと進みました。父が瓦職人で、学生時代からその会社でアルバイトもしていましたから、自然な成り行きだったと思います。体を動かすのが好きなので、自分に合っていると思い入社しました。仕事は楽しかったですが、ものすごく忙しかったですね。1993年といえはすでにバブルは弾けていたのですが、不景気だったという記憶はありません。今より家を建てる人もずっと多かったですし、大きな家も珍しくなかったです。私の中では、今よりはずっと活気があったという記憶があります。

そこでの仕事は各人が会社から請け負うというやり方でしたから、みんな自分の現場を持って一人で施工をしました。朝7時半から始めて毎日瓦を並べていきます。だいたい1週間で1軒の家を終わらせるというのが標準的な施工でした。

時代の流れで瓦が減って

瓦の仕事は夏より意外と冬が大変なんです。霜が降りると作業が遅れますし、日が暮れるのも早いからです。あと大変なのは、台風シーズンでしょうか。

4年ほど前に瓦の仕事を辞める決心をしました。瓦屋根自体が少なくなってきたのと同時に、本当に仕事が減ってしまいました。家族との生活もありまして、職替えをする決心をしてハローワークに行きました。そこで草むしりの仕事を見つけたんです。

すぐに応募して採用となりました。先輩方がみんな親切で、働きやすい職場だなと思いました。

私は草刈りが大好きなんです。一心不乱に草を刈って、きれいになるのを見るのが好きです。だから、仕事をやってみるとやっぱり楽しかったですね。楽しくて1日が終わるのが早く感じられるほどでした。

一心不乱にきれいにする

この仕事で何よりも好きなのは、お客さまの喜ぶ顔が見られることです。年配のお客さまが多いですから、代わりに草を刈ってくれたと喜んでくださる方が多く、やり甲斐を感じます。お礼のお手紙をいただいたことがあるのですが、すごくうれしくて私の方が感激してしまいました。

まずは、ケガを治します

昨年からチームリーダーとなり、閑散期もメンバーの仕事を保証しなければならぬという、今までなかった悩みも増えました。また年末には、思いがけない事故を受けて大きなケガをしてしまいました。先を焦る気持ちもある中、まずは身体を治すことを優先しています。

今後はチームの人員を増やして、みんなで楽しく、安全には万全を期して、みなさんのお庭を綺麗にすることに励みたいと思っています。よろしくお願いたします。



草むしり事業部リーダー

藤澤秀樹



庭のお手入れは、タイミングが大切です。
ご予約お待ちしております！

草むしり・草刈り・剪定
庭木の伐採・枝落とし・抜根ほか...

お庭の困り事はご相談ください。

フリーダイヤル



草むしり.com 高松



0120-148-144



今月の社長のコラム

お陰様です。

前回からの続きで、石文化研究所の所長であつた故小畠宏充先生との出会いについて書きます。

最初私は、同じ四国の方と3人のグループで勉強を始めました。年4回のうちの3回は新横浜にある先生の仕事を訪ねて、そこでお話を聞きました。『日本人のお墓』という教本に沿って、勉強会は進みました。

「心・美・愛」がお墓の本質

何って最初に驚いたのは、その蔵書の数でした。3つあつた部屋の壁はすべて本棚で、たくさん本に埋もれていました。こんなに勉強しているのか…と圧倒されたのを憶えています。こういう人がいるんだなあ、と思いました。

先生には柳田国男の民俗学の知識が背景にあつて、とても博識で、時には講義の途中で本棚から本を取り出してきて説明をされました。本棚のどこにあるどの本に書かれているかを把握していることにも、びっくりしました。



先生は、石のことについて詳しくたわいではありませんが、いいですね。石のことは気にならないのです。大事なのは、私たちのお墓に対する思いなのです。

先生によると、心・美・愛がお墓の本質でした。ですから立派でなくても、昔の人が作ったような素朴なお墓が温かみがあり、美しいという考えなのです。

お墓になる石を売っている身としては、正直ちよつと戸惑いました。他の方も同じだったのではないのでしょうか。しかし、先生の講義を聞き続けて学ばせてもらっているうちに、先生の考え方には真実があると思うようになっていきました。私のお墓に対する思いも次第に変わって行きました。

私には社長になってから一度、大きな転機がありました。それは私の心の中の転機です。

まだ30代の頃ですが、会社のいろいろなことが上手いかず、苦しんだ時がありました。自宅が火事に遭い、多くの思い出の品を失いました。その苦しみの中で、私は御嶽山の夏行に参加しました。

先生に学んだ貴重な10年

行の最後の日のことでした。行でいただいた言葉がスーッと胸に入ってきて納得が出来たという体験をしたのです。この日から私は少し成長できた、(自分では)思っていました。それ以前より心が穏やかにもなったのですが、小畠先生のお話は、私がその行で得たものと共通するものがあり、納得させてくれるような内容が多く含まれるものだったのです。小畠先生について学んだ10年は、とても意義深いものでした。(続きます)

社長 中谷明生

全社員・各事業場で『環境整備』に取り組んでいます！

当社は、新年度から改めて、『環境整備』をあらゆる「業務の原点」と位置づけして取り組みをスタートしています。

環境整備を日々実践することを通じて、“徹底して事に当たる”“継続して目標を達成する”“物を大事にする”このようなことが養われ、より自立した人が育つ企業風土の確立を目指しています。



天候や業務の都合上、昨年約2ヶ月余りかけて塗り替えた大川工場の塀です



本社前の草花も！



本社隣接展示場

創業以来100余年、幸せな明日へ折りの心を…
NS 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144